

なかしゅんべつ

2012
1
No.408

謹
賀
新
年



目次

中春別農業協同組合代表理事組合長挨拶 3	中春別乳牛改良同志会会長挨拶……………7
北海道農業協同組合中央会会長挨拶… 4	新規エクセレント獲得牛…7~8
中春別酪農対策協議会会長挨拶………… 5	青年部のページ…………… 9
中春別農協青年部部长挨拶……………6	新しい仲間のご紹介……………13
中春別農協女性部部长挨拶……………6	別海ミルク王国国王・保育園訪問…16



謹賀新年

平素のご厚情を深謝し
 益々のご発展をお祈りいたします
 本年も変わらぬお引き立ての程
 よろしくお願い申し上げます

平成二十四年元旦

代表理事組合長	小湊 保
副組合長理事	兼松 幸裕
専務理事	佐藤 猛
常務理事	大山 武永
理(事務経済委員長)事	奥山 秀幸
理(営農生産委員長)事	藤倉 紀夫
理事	望月 英彦
理事	中西 貴司
理事	西川 寛稔
代表監事	平井 真一
監事	荒 青史
監(員)外	紫藤 正幸
外職員	一同

中春別酪農対策協議会会長

望月 英彦 外会員一同

中春別農協青年部部長

金子 琢哉 外会員一同

中春別農協女性部部長

畠山 友子 外会員一同

中春別農協良質生乳生産
 推進委員会委員長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協良質粗飼料生産
 利用対策委員会委員長

西川 寛稔 外会員一同

中春別乳牛改良同志会会長

山田 博和 外会員一同

中春別乳牛検定組合組合長

小湊 保 外組合員一同

中春別農協農業後継者
 対策協議会会長

藤倉 紀夫 外会員一同

中春別農協年金友の会会長

高橋 昌晴 外会員一同





新年のごあいさつ

中春別農業協同組合 代表理事組合長 小湊 保

組合員の皆様、新年あけましておめでとございます。24年の輝かしい新春をご家族お揃いのもと清々しくお迎えになられお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと22年に発生した口蹄疫、異常気象(猛暑、集中豪雨)等、酪農界に大きな傷跡を残しました。23年は穏やかな年になるよう願っておりますが、3月に未曾有の東日本大震災が発生し、その後、原子力発電所事故に伴う放射性物質が流出し牛乳をはじめ牛肉、米、野菜等から検出され、風評被害も相まって、生産農家は大きな打撃を受けている状況です。一日でも早い被災地の復興と原発の収束、除染がなされますよう願うばかりでございます。

さて、経済は米国に端を発した金融不安は最悪期を脱し、新興国の堅調な経済により緩やかな回復基調も見せていましたが、ギリシャ財政問題からの欧州債務危機により世界経済は減速傾向にあり、日本においても震災、原発事故、世界経済の低迷により円高傾向が続き、輸出産業の減等が日本経済に影を落としているところです。

この様な状況下、生乳生産は分婉のずれ、粗飼料成分の品質低下等で上期は前年を下回る中で推移しておりますが、後半に入り分婉頭数の増、23年度収穫された粗飼料給与により回復基調となっております。また、平成

23年度は生乳取引価格が約2円引き上げられましたが、配合飼料、燃油等の高止まりが経営に重くのしかかり厳しい一年となりました。

一方、難航しているWTO、EPA、FTA交渉に加え一昨年突如としてTPP交渉への参加問題が浮上し、国内で議論が二分されている中、政府は関係国との協議を開催しております。TPPは国内農業ばかりではなく、物品市場アクセス、サービス、政府調達、投資環境、労働等、21分野にわたり国の形を変える条項で農業界のみならず、各関連産業団体と連携し参加阻止に向け反対運動を展開している所でございます。

今後の動向については注視が必要ですが、国際化の波は避けられない状況にあり、酪農も国内外の厳しい圧力に耐え得る体力を付け、安全・安心な牛乳、乳製品を供給する事を求められています。

この様な状況下において農協と致しましても中期経営計画の着実な実践と更なる組合員経営の相談、支援等の機能強化を推進して参る所でございますので、組合員の皆様のご協力・ご理解をお願い申し上げます。

平成24年が皆様方にとり実り多い年となる事と、ご家族のご健勝とご繁栄を祈念し新年のご挨拶といたします。



(平成24年) 年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田 稔章

組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成24年の新春をご家族とともに迎えられることを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先には低温・日照不足等による生育の遅れが心配されましたが6月には天候が回復傾向に向かい、降雹被害や台風による被害などによって地域や作目による差はあるものの、組合員・JAの努力が報われ総体的には平年に近い出来秋となりました。

さて、東日本大震災から9カ月以上が経過しましたが、復興への道筋は決して容易なものとはなっておらず、また原発事故の収束にも目途が立たず、全国の農業者や消費者は不安な日々を抱えています。JAグループは、今後とも食料供給基地である被災地の復興に向けてあらゆる支援を続けていくこと、政府の指導のもとで安全・安心な農畜産物を安定的に消費者の皆様にお届けすることに、今こそ協同組合の精神である「絆」を大切にすべく価値観のもとで、総力を挙げて取り組むことが必要です。

また、環太平洋連携協定(TPP)に関しJAグループ北海道は、与野党国会議員に対する要請を行ない、昨年11月4日に札幌市で「ともに考えよう」この国のかたち「TPP交渉問題を考える道民集会」を開催しま

した。野田首相がAPECに向け「交渉参加に向けて関係各国との協議を開始し、各国が我が国に求めるものについて、さらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点に立ってTPPについての結論を得る」との方針を表明したことは、議論が全く成熟していない段階での見切り発車の何ものでもなく、JAグループ北海道として強く抗議しました。

この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。お金を出せば食料を確保できる時代ではなく、経済成長と引き替えに国民生活の安全・安心を損なう国政はあってはなりません。今後ともTPP交渉参加の正式表明を断固阻止するため、国民的理解の醸成に向け北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は「協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」を主題に開催した第26回JA北海道大会決議事項の実践最終年を迎えます。大会決議事項の「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステップアップを図り、食料

自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。JA経営では「協同と信頼の絆で築く新時代のJA」の実践によって、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。また、国連は平成24年を国際協同組合年とすることを宣言しました。「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンのもと、協同組合の社会的役割・意義をアピールしていきましょう。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年も災害がなく、豊穣の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の年となりますよう心から祈念申しあげ、新年にあたってのご挨拶といたします。



生乳需給対策を 重点的に運動

中春別酪農対策協議会 会長 望月 英彦

新年明けましておめでとうござい
ます。会員ご家族の皆様におかれま
しては、健やかに新年をお迎えのこ
とと謹んでお慶び申し上げます。ま
た、日頃より当会の事業に対しまし
て特段なるご理解とご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の酪農情勢は、加工原料
乳生産者補給金は前年度10銭上げ
の11円95銭、その対象である限度数
量については、前年度据え置き
185万トとなりました。一方、生乳
需給関連対策では、チーズ向け生乳
供給安定対策が新設され、88億円
の予算が措置されたことや環境に配
慮した酪農推進のために、「酪農環境負
荷軽減支援事業」が政府予算として
安定された施策になるなど一定の成
果があったものと思われまます。しか
しながらTPP参加交渉問題など、
今後の動きに対する影響が注視され
るところであります。

昨年の酪対活動の報告をいたしま
すと、政権交代による要請プロセス
が変わったことにより、6月と11月
に情報収集に農水省生産局との意見
交換、合わせて国会議員への要請活
動を行わせていただき、10月には中
司道議と道農政部との意見交換を

行い、精力的に活動をさせていただ
きました。9月には日本政治連盟主
催によるTPP反対全国酪農民総決
起大会に参加し、全国から酪農生産
者1500人が参集し、参加交渉断
固反対を訴えました。また、11月に
青年部役員による農水省生産局との
勉強会、女性常任委員を中心にした
クラブ連合と生産者、消費者双方の
立場から意見交換をし、当地区に対
する信頼感・期待感の高さを感じる
有意義な交流会を開催することがで
きました。

さて、当地域では、第7期生乳安
定生産対策最終年の中、生乳需給は
景気動向や気象条件、海外諸情勢な
ど複雑な要因の中で短期的に大きく
変動し、その需給は見通し難い状況
にあるものの、都府県の生産基盤の
縮小傾向に加え、昨今の猛暑と東日
本大震災による生産減少によって、
牛乳・乳製品の需給は逼迫基調で推
移している状況です。また、次期生乳
生産安定対策の検討が進められてお
りますが、飼料自給率の向上や酪肉
近代化基本方針による生産数量目標
に向け生産基盤の維持・拡大、生乳の
安定供給体制の確立が重要となるこ
とから、一律増産体制で検討されて

おり、生乳の安定生産と酪農経営の
安定が図られるよう積極的に提言し
てまいりたいと思っております。所得確保
を目的とする生乳需給対策を重点
的に運動する必要があると思われま
す。

また、昨年11月に野田首相がAP
EC(アジア太平洋経済協力会議で
TPP(環太平洋経済連携協定)につ
いて「交渉参加に向けた関係国と協
議に入る」と方針を表明し、日豪
EPA(経済連携協定)や日中・日韓
FTA(自由貿易協定)を政府とし
て進めており、重要品目に対する例
外措置などを中心に断固阻止しな
ければならず、関係機関と強調しな
がら守らなければなりません。刻々
と酪農畜産を取巻く情勢は変化し
ておりますが、我々が安心して生産
でき変化に対応できるよう政策運動
を継続的に実施し、本年も地域振興・
発展のために、酪対構成組織の協力
を得ながら、農協と連携した運動展
開をしてまいりたいと思っております。
引き続き会員各位のご理解とご協力
を、あらためてお願い申し上げます。
のご挨拶とさせていただきます。



中春別農協青年部 部長 金子 琢哉

新年、明けましておめでとうございます。

当青年部活動に對しまして、組合員の皆様におかれましては常日頃より、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。心から御礼申し上げます。



中春別農協女性部 部長 畠山 友子

明けましておめでとうございませう。ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えの事と謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に對しまして部員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様

新年のご挨拶

新たな魅力を創造していく

さて、昨年を振り返ってみますと、東北地方太平洋沖大地震や福島原発事故、例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉問題など頭を悩める問題の多い年ではなかったでしょうか。そんな中、青年部では新たに5人の部員を加入し活動してきました。

札幌オータムフェスタへの参加、JA道東あさひ青年部との合同ライダー作戦、お中元・お歳暮の取り纏めを行い、消費拡大を目指し活動を行いました。地区内視察研修をはじめ各研修会や勉強会を開き、知識の向上も図りました。また部員間だけではなく、根室地区青協事業を通し、他農協青年部との親睦も深めること

ができました。昨年は2年に1度行っている、農林水産省との意見交換会も行いました。TPP交渉問題や各事業予算縮小といった状況下の中、現場で働く生の声を聞いていただくことができました。

新しい年を迎え、今年も様々な問題と直面することと思ひます。安心安全な牛乳を供給することはもとより、農業をとりまく環境が一段と厳しくなる中、組織活動の革新を続けることで

新年のあいさつ

多くの情報と酪農の勉強・消費拡大を

様のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

しても、もっと国民にわかりやすいように説明をし、しっかりと議論をしていただきたいと思ひます。

さて、昨年を振り返ってみますと、3月に発生した東日本大震災は、あまりにも被害が大きくて未だに住民の皆さんの生活は安心でき

るものではありません。今年も私たち酪農を取り巻く情勢は厳しく、課題が山積みの状況にあります。

一日も早い復旧、復興と福島第一原発事故の収束を願うばかりです。TPPに関

私たちが女性部員はこれから酪農経営のパートナーとしての役割を担う為に、広い視野を持つて情報を取り

入れ、生産者である立場から酪農に對する勉強、そして消費拡大に努めて行きたいと思ひます。

本年もどうぞ宜しくお願





情熱・愛情の結果、累計で 200頭のエクセレント牛を輩出

中春別乳牛改良同志会 会長 山田 博和

2012年、初春を迎えるにあたり、日頃よりご支援とご協力をいただいております皆様へ謹んでお慶びを申し上げます。

また、昨年3月11日に起きた東日本大震災により甚大な被害にあわれた皆さまには1日も早い復興を心よりお祈りいたします。

当同志会事業運営につきましては農協をはじめ、関係諸機関、企業と会員のご理解とご協力をいただき、役員一同心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年の取り組みと致しまして、会員・組合員の方々の見聞を広めていただき乳牛改良の研鑽を図るための「酪農視察研修」また、種雄牛の理解を深める事を目的とした「女性による視察研修」や各機関の「酪農講習会への参加」、管内協議会では、昨年より開催されました「根室管内バーンミーティング」など会員他、皆様のご参加をいただきながら無事取り進めて参りました。

当同志会も創立35年目を迎えた訳ですが、昨年は家畜伝

染病口蹄疫の国交正常化により、各地のショウの開催やバーンミーティングへの参加など酪農家が集う機会が戻ってまいりました。しかしながら東日本大震災、TPPへの参加協力など新たな問題も発生しています。また、昨年行われる予定でした乳牛のオリンピッククとも言える第13回全日本ホルスタイン共進会北海道大会も中止となり、開催は今後検討する段階でございます。

そんな中でも、昨年は新規エクセレント牛9頭が獲得することができ、累計でも記念すべき200頭のエクセレント牛を輩出することができたのは日頃の乳牛改良に対する情熱、愛情の結果だと感じております。

私共改良同志会といたしましても地域へどう寄与しているか、農協、関係機関との連携を深めて時事に向かい取り組んで参る所存でございます。本年も組合員の皆様方のご理解を節にお願ひ申し上げ、また、ご健勝とご多幸を御祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成23年 新規エクセレント獲得牛 累計200頭突破!!

EX90



スウィートブライアー サンシャイン ダイ ET
(05.07) H17.7.13生 竹田 潤
父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:クレアメル リンジエツト サンシャイン

EX90
3代EX



ライブリー デ コール プリンセス ダイアナ
(05.05) H17.9.9生 山田 光男
父:レーガンクレスト ダンディー ET
母:ライブリー デ コール プリンセス レテイ 90
祖母:ライブリー デ コール クリエーション プリンセス 90

EX91
5代EX



アビリティファーム アクトレス ピーターチエ
(07.01) H16.2.4生 **橋本 幸二**
父:ミスター マンハツタン ET
母:アビリティファーム ストーム ピーターチエ 92
祖母:アビリティファーム リンデイ ピーターチエ 90
曾祖母:アビリティファーム ポテント ピーターチエ 92
高祖母:アビリティファーム クリス ピーターチエ 91

EX90
2代EX



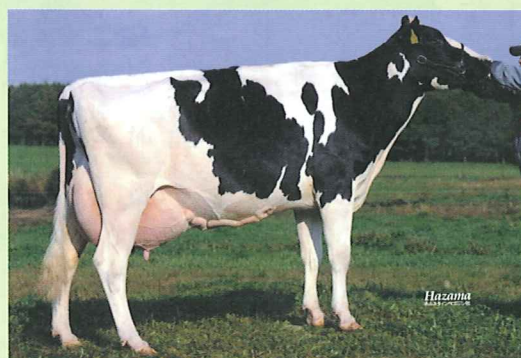
YMD ロクセット ダーハム シヤネラー ET
(05.11) H17.7.3生 **山田 博和**
父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:YMD ロクセット スタートモア シヤネル ET 90

EX90



コロパス ロック D ダビユーク
(05.03) H18.5.18生 **目黒 雅明**
父:ヘブンリー ダーハム ダビユーク ET
母:コロパス ロック サベージ

EX90
4代
および
姉妹EX



アビリティファーム グレーテル ピーターチエ
(05.09) H17.11.15生 **橋本 幸二**
父:レーガンクレスト ダンディー ET
母:アビリティファーム リンデイ ピーターチエ 90
姉:アビリティファーム ストーム ピーターチエ 92
祖母:アビリティファーム ポテント ピーターチエ 92
曾祖母:アビリティファーム クリス ピーターチエ 91

EX90



アビリティファーム フェアリー ピーターチエ
(05.06) H19.3.1生 **橋本 幸二**
父:ジェニールー マーシャル P149 ET
母:アビリティファーム アルマーニ ピーターチエ

EX90
2代
および
姉妹EX



セイコー ロクセット シンフォニー ET
(07.01) H16.10.16生 **宗像 宏充**
父:レーガンクレスト エルトン ダーハム ET
母:YMD ロクセット モア ET 91
姉:YMD ロクセット ギブソン ビル ET 90

EX90
4代EX



ライプリー スポツテイ ジェスロ
(05.06) H18.5.8生 **山田 光男**
父:ロイレーン ジェスロ ET
母:ライプリー スポツテイー エルトン 91
祖母:ライプリー スポツテイー ストーム 92
曾祖母:ライプリー スポツテイー リンデイ ET 90

「Exciting Innovation」

新たな魅力を創造し、
北海道を熱く盛り上げていこう

第60回 全道JA青年部大会並びに
北海道農協青年部協議会創立60周年記念式典

第60回全道JA青年部大会並びに北海道農協青年部協議会創立60周年記念式典が、札幌パークホテルにて12月7日～8日にかけて開催されました。

く盛り上げていくという目的のもと、全道より700人以上、当青年部からは3人の部員が参加いたしました。

大会では「青年の主張」活動実績発表」



が行われ、各地区の代表が

思いを込め発表しました。

根室地区代表のJA計根別

青年部・中村正博氏は最優秀賞を受賞す

る快挙を成し遂げ、東北・北

海道大会へ参加する事となりました。

特別講演では、「東日本大

震災における復興支援活動」

と題し、全国農協青年組織協議会副会長・遠藤友彦氏

を講師に招き、震災直後の現場やその後の復興活動に

ついて講演されました。また、遠藤氏は福島県で就農

大会テーマを「Exciting Innovation」とし、農業をとりまく環境が一段と厳しくなる中、組織・事業活動の革新を続けることで新たな魅力を創造し、北海道を熱

た、遠藤氏は福島県で就農



しているとのことで福島原発事故の現状と今後についても講演いただきました。

記念講演では、(株)ソフトバンク

人事部長兼社長室室長

補佐・青野史寛氏より

「次代を読む力とリーダーシップ」

と題し、生い立ちや経歴を踏まえ

先を読む力やまとめ役

(リーダー)に必要なものなどを講



演いただきました。

60周年記念祝賀会では、

アームレスリング大会・カラオケ大会が行われ、カラオケ大会に長沼徹部員が参加され、地区代表とし立派に「君と」を披露されました。

また、祝賀会・根室地区懇親会などが開催され、他JA盟友との交流も図ることができ、充実した2日間になりました。

ました。

クリスマス、お正月に飾る フラワーアレンジメントに挑戦

フラワーアレンジメント講習会

女性部(島山友子部長)では、12月9日(金)に毎年恒例となっているフラワーアレンジメント講習会を開催いたしました。

今年には部員14人が参加され、中標津町からフラワールームえみ様から渡辺正樹氏を講師に招き、クリスマスからお正月に楽しめるフラワーアレンジメントを教えてくださいました。

まずは渡辺さんのお手本



を見てから、自分たちの作品を作り始めます。真剣な表情で鉢にたくさんのお花をちりばめたり、高さを出して大きく作ったりと、作る人によって様々な作品ができあがりました。

青年部・女性部合同 お歳暮こだわりギフトお礼と結果報告

『注文総数260セット』

今年も青年部・女性部合同お歳暮こだわりギフトの作成、取りまとめを行いました。

今年度は、乳製品2セット、牛肉1セット、新たに中春別産オリジナルセットと題し、黒毛和牛と乳(ミル)ほた餃子のセットを作成、推進いたしましたところ皆様方のご協力のもと、去年と同様の260セットの注文をいただくことができました。

各セットの結果はAセット129セット、Bセット43セット、Cセット51セット、中春別産オリジナルセット37セット。注文金額計、145万6500円でした。数多くのご注文ありがとうございました。

来年度以降も消費拡大を目指し、青年部・女性部協力し合い、皆さんにお喜びいただけるセット内容を作れるよう考えていきますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。



JA中春別青色申告会 研修会を開催しました



12月7日(水)にJA中春別青色申告会(会長 青野芳樹) 税務研修会を開催しました。講師に福田経営センター株式会社 部長 森様、川本様を向かえ申告会会員36名が出席されました。①税制改正②確定申告の注意点③個体識別データによる台帳自動作成の3つについて説明されました。税制改正については、扶養控除が23年分の申告から0歳～15歳までの38万円控除が廃止となり、16歳～18歳は63万円控除が38万円と減額されます。個体識別データによる台帳作成については、24年分の申告時から牛の固定資産台帳作成について、農協への出生と転出届けの異動報告データが家畜改良センターを經由し福田経営センターのシステムに落とし込まれ台帳作成されるというデータ処理方法を説明していただきました。なお研修会の資料については事務局にありますのでお気軽にお声がけください。

営農対策情報

根室農業改良普及センター

個体管理の決め手「牛名板」!



写真①

1 牛名板を見直そう

「そんなもん知ってるよ」と言われそうですが、牛名板を有効に活用している2農場の事例を紹介します。

写真の牛名板は、どちらの農場も書かれた情報を共有して、繁殖成績の向上や、治療牛についての共通認識を持つのにたいへん役立っているものです。

写真①は白色のプラスチックパネルを切ったもので、大きくて見やすいのが特徴です。サイズは縦30cm×横45cm。

記入する情報は、個体番号、授精日、分娩日、子牛の♂♀、



写真②

受胎の有無、難産等、そして乳房炎や治療について記入し、ガムテープを貼ると次々に記入できるようなっています。

写真②は市販のもので価格は約600円でサイズは縦18cm×横23cm。写真①と同じく個体番号と分娩日、授精日をすべて記入しています。少し小さくて見づらいですがパイプにすぐに取り付け可能です。

2 おすすめの理由

個体管理で必要な情報(分娩日、発情、最新授精日、受胎の有無、乳房炎、その他治療、廃用予定や乾乳等)を、すべて牛名板に記入出来ます。

これにより、家族だけでなく人工授精師や獣医師等関係者にとっても一目でその牛の情報が把握できるので非常に便利です。

書き込むプレートは百円均一ショップやホームセンターでも入手可能な材料から手作りすることも出来ます。

データを自分以外の人にも伝える手段として、牛名板はとても優れていると言えます。今一度利用を考えてはいかがでしょうか。

今年1年お疲れさまでした 来年も良いお年をお迎えください



中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、11月22日(火)に今年度最終行事となります。お楽しみ会を毎年お世話になっている中標津町の俵橋マルエー温泉にて、64人の参加のもと開催しました。

12時から始まる食事会までの間、早めに来て温泉でひと汗流す方や、部屋でお

喋りに花を咲かす方など、それぞれ時間まで自由に過ごしていただきました。

準備が整い食事会が始まると、美味しい料理に皆舌鼓を打ち、次々出くる料理にも箸が進みました。ほどよく食事会が進んだところで、今回、俵橋マルエー温泉のご好意により日本舞踊を先生方に披露していただきました。「日本舞踊」という言葉どおり舞うように踊る

年金友の会 お楽しみ会



姿に皆、目を奪われました。

その後には毎年恒例のカラオケ大会があり、皆さん自慢の歌声を披露し、終始盛り上がりを見せたカラオケ大会となりました。最後に豪華商品が当たる抽選会をやり、会長が抽選くじを

引くたびに「私に当たって」と皆ドキドキワクワクしながら楽しみました。

最後になりましたが、今年度も年金友の会の行事を通してたくさんの方の参加をいただきありがとうございます。今回から新しい事務局となり、わからないことだらけだったのですが、会員皆様の協力をいただき無事、年間行事をやり遂げることができました。ありがとうございました。

年末に向け皆さん体調を崩したり、風邪をひかないようお体には充分気をつけて、また元気な姿でお会いできることを心より楽しみにしています。





新しい仲間のご紹介

中春別地区

栗栖

翼さん(22歳)

千尋さん(21歳)

心愛ちゃん(1歳9カ月)

**ガレージのある
家を建ててるのが「夢」**

今回ご紹介するのは中春別地区に住む荒康夫さんの娘さん家族の栗栖翼さんと千尋さんと心愛ちゃんです。

千尋さんは別海高校卒業後、中春別農協に就職し、金融共済課でお仕事をされてきました。翼さんは中標津農業高校卒業後、札幌で就職。その後、地元に戻ると川北に就職。千尋さんとは友達のご紹介で出会い、遊びに行くようになり日を重ねることに2人は意気投合し、平成21年11月1日にめでたく結婚。翌年の3月23日に長女の心愛ちゃんが誕生し、今では家族仲良く千尋さんの実家で同居しています。

釣りやバイクが趣味の翼さんと、子育てに専念している千尋さん。心愛ちゃんもすくすくと成長し遊び盛りで、いつも家族を楽しませてくれています。そんな栗栖家の夢は「ガレージがある家を建てること！」で「夢の実現に向けて頑張りたいです」と語っていただきました。当日は取材のご協力ありがとうございました。



STOP

抗菌性物質残留事故!

根室管内の抗菌性物質残留事故発生件数は、平成23年12月25日現在で、7件と昨年同期よりは減少しておりますが、依然として「うっかりミス」による事故がその多くを占めております。

『こんなときに事故が…』

- 牧草収穫などの繁忙期
- 治療後のマーキングが実施されていない
- 治療の情報が搾乳者間(家族・従業員)に周知されていない

事故を防ぐためには…』

- 治療記録(薬剤名・休薬期間等)は記帳・保管しましょう
- 出荷前検査を実施しましょう
- 搾乳者間(家族・従業員)で治療牛を確認しましょう
- 治療牛は隔離するか複数個所のマーキングを実施しましょう
- 隔離やマーキングは治療後直ちに実施しましょう

乳頭マーキングテープを活用しよう

泌乳期治療牛の作業手順

乳頭清拭

搾乳(出荷不可)

治療(軟膏注入etc…)

乳頭乾燥(油分拭き取り)



(2回目以降の作業)



ディッピング



治療牛の貼り易い2乳頭の側面に合掌貼り

貼り方



マーキングテープの剥離紙を剥がし、粘着面を上にして赤い部分を親指と手の平に挟んで持つ。



テープの中心部を装着する乳頭にあてる。



テープを乳頭に巻くように装着。結合部は合掌貼りにする。



マーキングテープ装着完了!

スプレー・マークバンド・看板記入

+

乳頭マーキングテープ

留意点 ・乳頭が濡れていると剥がれやすい ・乳頭にタダレが見られたら、使用を中止

JA中春別／根室地方乳質改善協議会

北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

【専攻科】修了研究活動発表会実施

11月29日(火)修了研究活動発表会が実施されました。学生達が1年間テーマを決めてそれぞれの研究に取り組みました。



発表の様子

乳牛の繁殖研究
(発情発見の的確な判断)、草地改善(区画法による植生調査と、入牧のタイミングの調査、イタリアンライグラスを用いた簡易更新技術研究、牛群衛生改善(野鳥獣侵入防止)、飼料パーティクルサイズによる嗜好性の調査)、乳製品加工(チーズ)の6発表がありました。学生の自家での研究ですので、今後の酪農経営に生かしていけることがこの発表の最大の利点です。是非、専攻科を修了してからも調査を継続して欲しいと考えております。

発表会には、道東あさひ農業協同組合営農センター、根釧農業試験場、根室家畜保健衛生所、根室農業改良普及センターから5名の講師がお見えになり、様々な視点から助言やご意見を頂きました。それを受けて学生からは「父親と相談して少しずつ草地を更新していきたい」「様々な方のご意見を聞くことが出来て視野が広がった」という声がありました。最後に、この発表会にご臨席頂いた、保護者の方々、専攻科OBの皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

【専攻科】ニュージーランド研修から帰国

12月5日(月)に10月からニュージーランドで酪農研修をしていた専攻科2年目学生佐々木克典さんが帰町しました。佐々木さんは、北島ワイカト地方で経産牛360頭を飼育するバルゼット牧場で約2カ月間滞在し酪農研修を行いました。出迎えた空港では日



帰町の挨拶

焼けした元気な顔を見せてくれました。この研修成果は来年の1月26日(木)に本校体育館で行われる研修報告会で発表しますので、是非ご参加ください。

●【経営科】農業クラブ役員改選

11月18日(金)、平成24年度農業クラブ執行部を決める立会演説会、役員選挙が行われました。

投票に先立って立会演説会が行われ、立候補者は、「農業クラブ活動をもっと活性化させたい」「少しでも役に立ちたい」など、堂々と抱負を話しました。

【平成24年度 農業クラブ執行部】

会 長	森 南 穂(2年)
副 会 長	泉 秀 法(2年)
〃	水 本 恵(1年)
書 記	出 田 有花里(2年)
〃	横 田 明 希(1年)
会 計	伊 藤 沙 織(2年)
〃	阿 部 由梨香(1年)
監 査	宮 西 真 人(2年)
〃	畠 山 政 樹(1年)
常任議長	佐々木 幹 基(2年)

●【経営科】冬の販売会を実施!

12月3日(土)、恒例となっているシクラメン・ポインセチアの販売会を実施しました。今年は、鉢花のほかにジャガイモや玉ねぎ、かぼちゃといった生産物、アイスクリーム、ヨーグルト、パウンドケーキといった加工品も販売しました。



当日は、150人ほどのお客さんが来校され、園芸班と加工班の2・3年生11人が笑顔で対応しました。

●【経営科】校内実績発表大会終了!

12月8日(木)、農業クラブ三大行事の最後となる校内実績発表大会が、本校体育館で行われ、ホームプロジェクト班、園芸班、加工班、農業科学基礎班の代表9発表が、今年度の成果を発表しました。



【最優秀賞】

共進会への参加を通じて学ぶ乳牛改良
伊藤真幸(3年)

【優秀賞】

牛乳を好きになろう!～私たちの挑戦part1～
佐藤美咲(3年) 森南穂(2年)
我が家の粗飼料の高品質化と低コスト化
細谷晶大(3年)
自産自消part3～ベジタベール交流会活動報告～
鈴木英里佳(3年) 佐藤秋乃(3年)

別海
ミルク王国
国王が保育園
を訪問

別海ミルク王国(佐々木茂成国王)では今年も町内の保育園を訪問し子供たちに一足早いクリスマスプレゼントを手渡しました。

また、今年も国王が来ると聞いて目を輝かせて待つていた子供たち。先生の話を聞いていい子にして待っていると「こんにちは！みんな元気にしていましたか？牛乳は飲んでいますか？」と、国王がやつてきました。元気に挨拶をすると国王との質問タイムが始まりました。「好きな果物は何ですか？」「好きな人はだれですか？」「何で王冠をかぶっているんですか？」と子供たちの質問に、「みかんが一番好きです」「保育園の先生も元気なみんなのことも大好きです」「王冠は一つしかない大切な物なので、

国王の訪問に目を輝かし、たくさんの質問をしました！



皆さんと会う時は王様の支度をして必ずかぶってきます」と丁寧に答える国王。質問が終わると子供たちから可愛らしい歌のプレゼントがありました。

最後にはひとり一人に国王からプレゼントが手渡され、子どもたちは「ありがとう！」とお礼を言うとう満面の笑みを浮かべていました。最後には「雪の上でこけたりして、けがのないように元気で過ごしてください」と国王から一言。子供達は「また来年も来てねー」と国王が見えなくなるまでずっと手を振っていました。

11月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

11月分乳代支払単価

				単 価	算 出 基 礎	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分				768.800		31.03	30.61	0.42	乳 脂 肪 分 ①	31円03銭	
無 脂 乳 固 形 分				485.757		42.77	41.99	0.78	無 脂 乳 固 形 分 ②	42円77銭	
補 給 金				4.0012		4.00	3.92	0.08	補 給 金 ③	4円00銭	
計 画 チ ーズ 奨 励 金									チ ーズ 奨 励 金 ④		
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	295,015,766.2kg	3.72	3.71	0.01		脂 肪 率	全 道	4.04%
		ランク2	0	5,433,127.4kg					農 協	4.10%	
		ランク3	-3	141,487.7kg					無 脂 固 形 分 率	全 道	8.81%
	体 細 胞 数	ランク1	2	255,589,531.0kg					農 協	8.77%	
		ランク2	1	24,516,202.2kg					成 分 乳 価	全 道	77円80銭
		ランク3	-2	3,574,328.6kg					①+②+③+④-⑤	農 協	78円10銭
合 計						81.52	80.23	1.29	乳 質 乳 価 ⑥	全 道	3円72銭
									農 協	3円80銭	
									乳 代 合 計	全 道	81円52銭
									農 協	81円90銭	
									⑤+⑥	差 異	38銭

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2012年 元旦

- 自動車の点検・整備・検査・農機具の修理
- 自動車・農機具の販売<北海道陸運局指定整備工場>



有限会社 **中春別マシンセンター**

代表取締役 **小湊 保**

別海町中春別南町3番地 TEL(0153)76-2117・FAX(0153)76-2278

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2012年 元旦

- 支援農作業の一切

WAMP (有)ジェイエー・ワンブ

代表取締役 **小湊 保**

別海町中春別南町3番地 TEL・FAX(0153)76-2861

謹賀新年

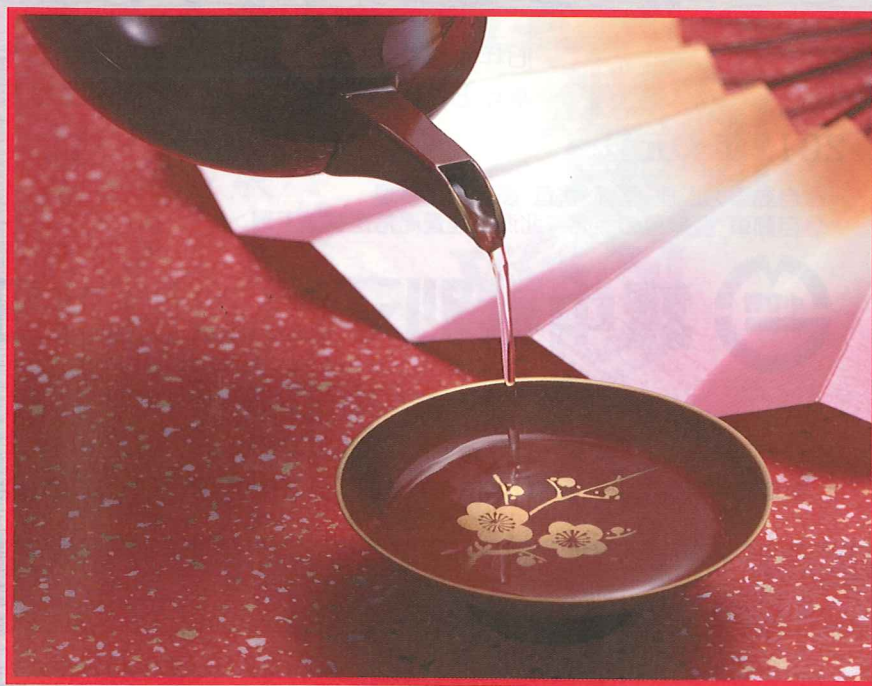
旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
本年も倍旧のご愛顧の程お願い申し上げます。

2012年 元旦



訪問介護ステーション **「あさひな」**

別海町中春別南町3番地 中春別農業協同組合2階
TEL・FAX(0153)76-3383



お屠蘇

お屠蘇の由来

屠蘇(とそ)とは、1年間の邪気を払い長寿を願ってお正月に飲む薬酒です。

『屠蘇』とは、「蘇」という悪鬼を屠(ほふ)るという意味です。数種の薬草を組み合わせた屠蘇散(とそさん)を日本酒に味醂や砂糖を加えたものに浸して作り、盃を用いて飲みます。「1人これを呑めば一家病無く、一家これを呑めば一里病無し」と言われ、伝統的な正月の祝いの膳には欠かせないものとなっています。

呑む順番は地域の差はありますが、年齢の若い人から順に呑むのが正式と言われ、これは中国の習慣からきたもので、若い人が毒味をするという意味がありました。しかし、日本では、明治もしくは昭和初期に家長から呑むことも行われるようになってきました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆さまにおかれましてはお健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は組合だより「なかしゅんべつ」をご愛読いただきありがとうございました。今年も引き続き地域に密着した話題をお届けするくみあいだよりづくりを目標として励んで参りますので、本年も組合だより「なかしゅんべつ」を宜しくお願い致します。

2012年のスタートとなり、昨年に引き続き東日本大震災や福島第一原発事故、TPP交渉問題など、まだまだ収束がつかなく不安の残る年明けとなりました。一日も早い被災地の復興と日本の未来が明るくなるように願うばかりです。

さて、新年会などこれからの行事で忙しい日々を過ごされることもあると思いますが、時間にゆとりを持って行動するなど、スピードの出しすぎには十分注意して交通安全にとめてください。